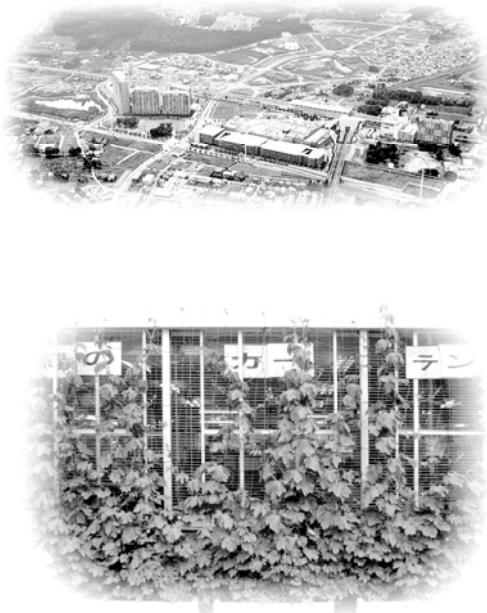


施策別計画



《施策別計画の見方》

基本構想に定める施策の大綱と推進方策の下に位置付けられる施策名を標記しています。

施策の現状と課題を表記しています。

議会の議決を経て策定する基本計画の範囲です。

施策の現状と課題を受けて、それぞれの課題に対応する基本方針を表記しています。

施策の基本方針を受けて、それぞれ対応する個別施策名を表記しています。

施策を説明するデータや写真を掲載しています。

◆第2編 施策別計画◆

1-1 生態系に配慮した公園・緑地・水辺等空間の整備・管理

現状と課題

- 公園遊具の充実や老朽化した施設の更新等、市民が憩い安らぐ地域に合った公園の整備・管理が求められています。また、土地区画整理事業や相続に伴う開発により、緑が減少している状況下で、市民の森※や街路樹等の緑の保全が求められています。
- グリーンチェーン戦略※など、市民との協働※による緑化が始まっています。今後も、緑化意識を一層高めて、地域ぐるみの緑化活動を進めることが課題です。

基本方針

- ・地球温暖化防止の観点から市街地内CO₂吸収源※の倍増を目指し、公園・緑地・水辺等空間の整備を図ります。
- ・地区花壇や緑化講習会等を通じて人材の確保と育成に努め、市民参加型の緑づくりの普及・啓発を促進します。

施策体系

1. 地域環境を活かした公園・緑地の整備充実
2. 市民参加型の緑づくり

■市内の緑に満足している市民の割合 (%)

年	満足している市民の割合 (%)
2010	69.6
2011	81.9
2012	82.7
2013	83.2
2014	80.5

みんなで草花に親しむオープンガーデン

しまれる公園を目指して

主な取り組みの語尾の表現については、以下の考え方により表記しています。
なお、これは都市計画マスタープランの考え方を踏襲したものです。

①～推進します。：市が主体となって進めるもの。

②～促進します。：市以外の主体に対し、市が取り組みを働きかけるもの。

③～努めます。：実現に時間はかかるが、市が主体となって目標の実現に向けて継続して進めていくもの。

④～検討します。：主体も決まっておらず、今後、実現に向けて計画するかどうか協議・調整・検討を要するもの。

個別施策はそれ
ぞれ施策の基本
方針に対応して
います。

個別施策を推進
する手段として
個別施策の下に
位置付けられる
詳細施策名を表
記しています。

詳細施策を推進
する手段として
の主な取り組み
を表記していま
す。

主な取り組みを
推進する手段と
しての主な事務
事業名を表記し
ています。

前期基本計画か
ら継続して実施
している事務事
業は「継続」、新
規に実施する事
務事業は、着手す
る時期を「上期
(平成 22~24 年度)
、「中期(平成
25~27 年度)
、「下期(平
成 28~31 年度)
」で表記して
います。

施策を説明する
上で、代表的な目
標指標を表記し
ています。

基準値は現状(平
成 20 年度)、目
標値は 10 年後
(平成 31 年度)
の数値を表記し
ています。なお、
表頭では、それぞ
れ H20、H31 と
表記しています。

1 節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）

個別施策内容

1. 地域環境を活かした公園・緑地の整備充実

(1) 公園緑地の整備保全（市街地内CO₂吸収源*倍増事業）

主な取り組み	主な事務事業	実施時期・主体
公園緑地の新設を推進します。	新市街地地区公園施設新設事業	継続 都市整備部みどりの課
	運動公園周辺地区公園施設新設事業	上期 都市整備部みどりの課
	西平井・鰐ヶ崎地区公園施設新設事業	継続 都市整備部みどりの課
	木地区公園施設新設事業	中期 都市整備部みどりの課
公園緑地の維持管理を推進します。	県立市野谷の森公園施設新設事業*	継続 都市整備部みどりの課
	街路樹整備事業	継続 都市整備部みどりの課
	市民の森*整備事業	継続 都市整備部みどりの課
	公園緑地維持管理事業	継続 都市整備部みどりの課

(2) 安心安全な公園施設整備

主な取り組み	主な事務事業	実施時期・主体
安心安全な公園施設整備を推進します。	遊具施設等安全対策事業	継続 都市整備部みどりの課

事務事業の主な実施主体*を表記しています。

2. 市民参加

(1) 市民参加

主な
緑の啓発活動
です。
緑化活動を行
ふるさと緑
進します。

*市が主体の事務事業については、平成 22 年度現在の担当部課名等を表記していますが、今後、市の組織改編等により変更される可能性があります。
最終的な担当部課名等については、各時期の実施計画の中で表記します。

目標指標

指標名	取得方法	基準値(H20)	目標値(H31)	考え方
市街地内CO ₂ 吸収源*増加率	業務	100%	200%	環境対策のバロメータでもあるCO ₂ 吸収源*の増加倍率を指標とし、市が管理している公園・緑地・街路樹及びグリーンチェーン認定宅地の緑化を推進します。
市内の緑に満足している市民の割合	アンケート	80.5%	80.0%	開発等による緑地の減少に伴い、みどりに対する市民満足度の低下が懸念される中、市民のニーズに合ったみどり政策を行うことにより、概ね良好であると思われる水準を維持します。
グリーンチェーン認定率	業務	22.2%	80.0%	開発事業者等に対するグリーンチェーン戦略*についてのPRを行うことなどにより、市民や事業者に理解と協力を得て、認定率の向上を図ります。

*印の主な事務事業は資料編の「主な事務事業マップ」に掲載しています。

31

目標指標のデータの取得方法を表記しています。

「業務」・・・担当課において業務を通じて取得した数値です。

「アンケート」・・・毎年 1 回実施している「まちづくり達成度アンケート*」及び担当課が独自に実施しているアンケートから取得した数値です。

目標指標が何を表しているか表記しています。
なお、資料編に目標指標の算出式を示しています。

